

てがいきょうかい しんぱん
* 堺教会 CS 新聞「いずみのひろば」は、ぜひ家族の人と一緒に読んで下さい。

いずみのひろば

2018年3月号
日本基督教団堺教会
No. 472 教会学校



『殺してはならない』

てがみ しよう せつ
ヨハネの手紙1 3章12～16節

「殺してはならない」。このみ言葉を聞いて、どう思いましたか？「私が人殺しなんかするわけないし、私にはあんまり関係ないみ言葉だな」「命は大切だし、「殺してはならない」って、当たり前だ」。そんなふうに思った人もいます。

でも、今日の聖書の箇所には、「兄弟を憎む者は皆、人殺しです。」と、書かれています。人を武器のような物で傷つけて死なせてしまうような事がなくても、人を憎むなら、それは人殺しだ、と聖書は言うのです。

そう考えてみたら、私たちも友だちとけんかをして、「本当に嫌な人だ！」「どっかに行っちゃえばいいのに！」なんて思ったことはないですか？友だちのことを無視して知らんぶりしたり…とかありませんか？だれかを、大っ嫌い！もう一緒に居たくない！と、心の中で思っただけで憎むことも、神さまにとっては、「殺す」と同じなのです。

イエスさまは、皆のことをとても大切にしてくださいました。神さまの国に迎えて、ずっと一緒に居たいと思いました。でも、それは簡単なことではありません。皆を神さまの国に迎える方法は、ただ一つだけ。それはイエスさまが十字架にかかることでした。イエスさまは、大好きな皆のために、十字架にかかって死なれました。

弱い私たちなので、すぐに腹をたてたり、嫌な気持ちになってしまいますが、その時はイエスさまを思い出してください。皆のためにも、けんかしたお友だちのためにもイエスさまは命を捨ててくださった。私たちにはそんなイエスさまがついています！お友だちが困っていたら助けてあげたり、手伝ってあげたりしましょう。イエスさまがいつも私たちと一緒にいてくださっているから、勇気が出てくるはずです！これからも、十字架にかかって私たちの罪を許してくださったイエスさまを信じて、イエスさまにしっかりと繋がっていきましょう。

(お話 森田裕子先生)